

令和3年度福岡県職業能力開発審議会（第2回） 議事録
（令和4年2月4日開催）

1 開 会

2 開会挨拶（事務局進行）

3 委員紹介

4 会長挨拶

5 議 事

第11次福岡県職業能力開発計画案について

（事務局資料説明）

・令和4年1月12日から25日まで実施しましたパブリックコメントについては、ご意見はありませんでした。

（委員）

今の計画（案）は、カラーであるが、前回の第10次計画のように白黒ではなく、カラーで印刷されるのか。SDGsの掲載もあるので確認した。

（事務局）

カラーで作成する予定。

（委員）

福岡県の非正規雇用率が特に女性は非常に高い。コロナ禍で非正規雇用率が深刻になっていると思う。計画の中にあるひとり親家庭への生活支援を受けながら職業訓練を受けられるような施策があると思うが、先日、この制度を利用して4年間学校へ行き、資格を取るという前向きな自立をしたいという方のお話を聞いた。ただこの制度は、ひとり親家庭に限られている。若い女性の自殺も多く、その背景にあるのが非正規雇用であったり、低賃金であったりするというのを考えた時に、今、ひとり親家庭に限って行われている生活支援と3年4年通い資格が取れるような制度を抜本的に増やしていただきたい。特にコロナ禍で強く推し進め、取り組んでいただきたい。

（事務局）

非常に大事なことであると思う。職業訓練の中においても子育て世代向けに託児付きであったり短時間であったり受けやすいような職業訓練のメニューも実施している。非正規の方向けの職業訓練も今年度追加で実施しているところ。他の部局においても様々な取り組みを進めていく必要がある。関係部局と連携しながら進めていきたい。

職業訓練については、生活困窮者向けに、条件があれば職業訓練を無料で受けつつ、生活給付を一部受けられるメニューも設定されている。そういった方に、職業訓練の制度が行き届くように取り組んでいきたい。

（委員）

周知の方も頑張っていただきたい。

(委員)

全体として、この第11次計画はこれまでの課題を踏まえて、かなりわかりやすくまとめられたものになっていると思う。51ページのDX人材の育成強化について、具体的にどんな取組をするのか。

(事務局)

労働政策課が所管する事業で求職者向けの支援、事業主向けの支援、就職マッチング支援の大きく3つの支援に分かれている。求職者向けの支援としては、ITリテラシー人材育成のための基礎講座を実施する。例えば、ITパスポート試験合格相当の人材、RPA活用人材などの育成を目指す。さらに、その上のレベルとなるIT専門人材育成のための専門講座、例えば、JavaやPythonといったものや基本情報技術者試験合格相当の方を育成する講座を実施する事業となっている。

(委員)

具体的な項目を考えておられるということで、よろしくお願ひしたい。

(会長)

それでは、他にご意見がないようなので、原案を妥当として答申することに、ご異議ないか。

(委員一同)

異議なし

(会長)

では、この計画(案)を妥当として答申する。別紙答申(案)のとおりとし、本日付で知事に提出する。

6 閉会